

## 南アフリカ為替週報

2022年4月28日 | みずほ銀行欧州資金部

## 〈過去1週間の動き〉

(4月21日～4月27日)

USD/ZAR: 15.0450～15.9875

ZAR/JPY: 8.01～8.54 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は、対ドル、対円共に、予想以上に大幅で、ほぼ一方的な急落。対ドルでは、局面の高値14.4450(4月13日)から、27日までに15.9525まで下落。下落幅は-9.4%にも及び、3ヵ月掛けて積み上げた上昇分を、2週間で吹き飛ばした格好になった。ランド安の要因には①クワズルナタール州を中心に南ア各地に被害を与えた洪水の余波 ②南アにおけるコロナ禍再燃懸念 ③南ア電力不足に対する警戒感 ④米長期金利上昇などを受けた(対円を除く)全般的なドル高の反面 ⑤対円で直近安値(3月31日の8.30)を割り込んだことを受けたテクニカルな売り ⑥南ア現地株価の急落(22日以降) ⑦金・プラチナなど貴金属(南ア主要輸出産品)価格の下落など、枚挙に暇がなかった一方で、値幅が大きく出た割に、これといって決定的な要因があったとも思われなかった。①～④は従前から観察されていた現象で、特に目新しさはなかったし、⑤～⑦はランド安の要因であると同時に、結果と考えることも可能で、決定的なランド売り要因と見做すには、やはり力不足のように感じられた。この間、南ア国債価格(長期金利)には目立った動きは見られなかった。22日に観察された南ア短期金利急上昇(3×6ヵ月物FRA金利は1日で+30b.p.前後も上昇)や、25日の現地株価急落などは目を引く値動きではあったものの、直接にその値動きを説明する要因は、残念ながら見当たらなかった。

## 〈向こう1週間の見通し〉

(4月28日～5月4日)

USD/ZAR: 15.700～16.100

ZAR/JPY: 7.95～8.20

向こう1週間の南ア・ランド相場は、方向感を欠いた膠着を予想。敢えて選ぶなら調整的なランド反発を警戒する。上述の通り、この間のランド続落に決定的な要因は見当たらない。特段のランド売り要因も見当たらないまま、対ドルで16.0を割り込むようなランド安の定着を見込むのは感覚的に受け入れ難く、このままランドが安値を広げる展開よりは、少なくとも一旦の底打ち反発の方が蓋然性は高いように思われる。足元ランド安の一服を見込むのは、例えば円安進行の一服や、米長期金利上昇の一服など(いずれも「曲がり角」であるよりは「踊り場」である可能性が高いと見込むものの)金融市場の他の部分で方向感の転換が散見されていることも理由と言える。中長期的な南ア政治/経済の方向感を占う上で注目したいのは、なんとと言っても①クワズルナタール州の洪水被害対応。ズマ前大統領派=反ラマポーザ大統領派の牙城とも言える同州は、ハウテン州に次ぐ人口を抱える主要州で、しかも与党アフリカ民族会議(ANC)の主要な支持基盤でもある。洪水被害に対して有効な対策を打つことができれば、反ラマポーザ派のANC支持者を懐柔することもできようし、それはラマポーザ大統領が苦慮している党内融和にも結び付くはず。悩ましいのは近年のコロナ対策で南ア財政が困窮していること、それ以上に、現状、ANC同州組織の中核を反ラマポーザ派の人材が仕切っていること。とりわけ、10日の地方選において、ダーバンを含むエテクウィニ都市部区で反ラマポーザ派が接戦を制したのは(ラマポーザ大統領にとって)痛恨の出来事と思われた。うがった見方かもしれないが、仮にここでラマポーザ派が勝利していたならば、素直に大規模支援→党内融和という絵が描けていたものを、現時点では有効な支援が反ラマポーザ派の得点になってしまう懸念が拭えないのではなかろうか。南ア経済全体の押し上げのためにも、洪水支援が必要なのは間違いなし、実際に相応の支援策は打たれるのだろうか、素直な支援を党内対立が邪魔している。汚職摘発にせよ、電力不足解消にせよ、方向感として正しい方向に向かってはいるものの、如何せんその歩みが遅々として進まないのは、南ア経済にとっても、ランドにとっても歯痒い現実と言えるだろう。

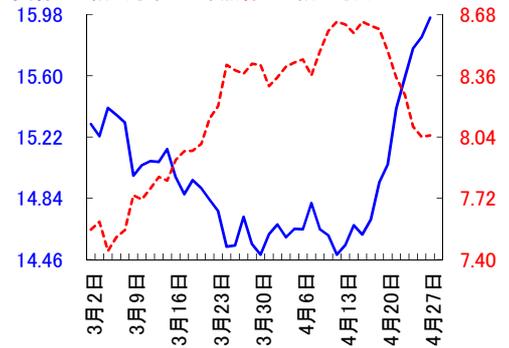
## 〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
4/29	6:00	民間部門信用(前年比)	3月		+5.35%	+3.62%
	12:00	貿易収支(ZAR)	3月		+22.0bn	+10.6bn
	12:00	財政収支(ZAR)	3月		-30.5bn	-3.4bn
5/3		自動車販売統計(前年比)	4月			+16.5%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

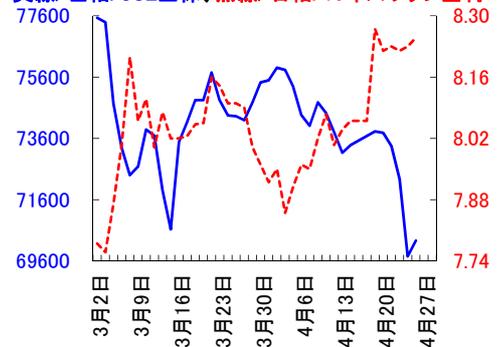
## 為替相場の推移(資料:ロイター)

実線/左軸: 対米ドル、点線/右軸: 対円



## 株式/長期金利の推移(資料:ブルームバーグ)

実線/左軸: JSE全株、点線/右軸: 10年スワップ金利



## 南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レボ金利)		4.25%
長期金利(10年スワップ)	4月26日	8.250%
株価指数(JSE全株)	4月26日	70264.11
成長率(GDP/前年比)	Q4	+1.7%
経常収支(ZAR)	Q4	+120bn
失業率	Q4	35.3%
消費者物価(前年比)	2月	+5.7%
小売売上高(前年比)	2月	-0.9%
製造業生産(前年比)	2月	+0.2%
鉱業生産(前年比)	1月	+0.1%
貿易収支(ZAR)	2月	+10.6bn
金価格(ロンドン17:00)	4月27日	1885.06

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。